

病院年報

2024 年度



社会医療法人恒貴会

協和中央病院

目次

1. 事業計画

- 1) 2024 年度 協和中央病院 事業計画

2. 診療実績

- 1) 協和中央病院 年度別患者数
- 2) 2024 年度診療科別・月別患者数（外来延患者数）
- 3) 2024 年度診療科別・月別患者数（入院延患者数）
- 4) 年齢別患者数
- 5) 地域別患者割合
- 6) 放射線科 年度別検査件数
- 7) 検査科 年度別検査件数
- 8) リハビリ科 年度別リハビリ件数
- 9) 歯科口腔外科 年度別患者延数
- 10) 健康医学管理課 年度別人間ドック等実施者延数
- 11) 居宅支援事業 居宅件数・医療福祉相談件数
- 12) 手術件数（上位 20 項目）
- 13) 疾病中分類
- 14) 救急・時間外年度別患者数

【2024 年度 協和中央病院事業計画】

1 【目的・役割】

少子高齢化の急速な進展による、2025 年問題、さらに 2050 年問題。また増加し続ける社会保障費の抑制を目的とした諸政策等により、病院を取り巻く経営環境は厳しさが継続している。これまでと同様の医療・介護の提供では収支の均衡を保つことは厳しい診療・介護報酬の内容となっている状況である。

このような情勢ではあるが、協和中央病院は、「相手の立場に立つ」という法人理念を職員が一丸となって取り組み、地域の急性期医療の中心を担う医療機関として、良質かつ安心・安全な医療及び介護を持続的に提供していくという使命感をもち、「患者様から信頼される病院」そして「職員が働きがいのある病院」をめざす。

2 【年度目標】

- ① 赤字体質からの脱却を目標に、入院収入増収に向け、入院患者の受入れ、入院化率の高い救急車受入れ体制を強化する。

目標値： 入院稼働率 93% 平均在院日数 19 日以内

外来 1 日 360 名以上 救急車受入年間 1,500 件（夜間休日救急受入件数年間 750 件）

節約を徹底し、ムダを省き経費削減を行う

- ② 「患者様から信頼される病院」を実現するため、診療体制の充実、及び強化に向け、医師、看護師、薬剤師の確保に取り組む。
- ③ 国の感染症対策に柔軟に対応し、また職員自身の健康管理に努め、自己啓発と感染防止に取り組む。
- ④ 2025 年の地域医療構想に向け、地域の基幹病院として当院の方向性について進める。急性期医療から慢性期、在宅までのサービス体制を保ちつつ、地域の人口減少、高齢化の進行を見据え、住民に安心を与えられる医療提供体制の構築に努める。

3 【事業計画】

I 地域社会に貢献する

- ① 恒貴会グループ各施設の役割、機能を十分に活用するため密接に連携し、救急医療から在宅までの医療提供体制の維持、また、さらなる医療サービス向上に努める。
- ② 社会医療法人認定要件継続に向け、救急患者受入体制の強化を行う。
- ③ 地域の医療機関、介護施設、また各行政機関と密に連携し、患者・利用者の確保に努める。

II 業務改善と人材確保、離職防止に努める

医療体制の継続、さらなる医療サービス向上をめざし、マンパワー不足の解消に努める。

医師、看護師、薬剤師確保を最重要課題とし、紹介会社の活用、各種学校への訪問を積極的に行い、法人の魅力を最大限にアピールする。また、救急受入体制強化に向け救命救急士の採用を進める。

- ① 入職希望者へ院内見学、職員との直接会話等を行い、新たな職場となる病院への不安解消をはかる。
- ② 働き方改革を踏まえ、労働時間、有休休暇等の改正に即した労働環境・雇用形態・勤務体系の整備に努める。
また、各部署の業務見直し、改善を行い、残業時間短縮を図る。
- ③ 人材育成として、専門的知識・技術取得、また専門資格取得等、職員の啓発意欲を積極的に支援し、職責へのモチベーション向上を促す。
- ④ 職員の定期健診診断の結果に基づく健康管理強化（受診勧奨）を行う。また、ストレスチェック受検率向上、相談窓口の体制強化を図る。

III 建物・設備のメンテナンスの充実をはかる

- ① 将来的な建て替えを視野に入れつつ、快適な療養環境の充実を図るため改修すべき老朽設備の整備に取り組む。
- ② 改修設備
病棟身障者トイレ改修・病棟浴室改修・病棟休憩室改修・病室ドアの改修・病室廊下等壁天井張替え・給排水設備の改修・等々
継続的な医療提供を行うため、施設改修に向けて中長期的に更新を行う。
- ③ 医療機器等、機能、性能維持及び適正な使用を図るため計画的な保守点検を行う。
- ④ 機器更新において、当院の規模、件数及び診療報酬に見合った機器選定を行い、計画的な更新を行う。

IV 医療安全及び危機管理体制

- ① 医療事故防止・医薬品安全管理・医療機器安全管理・情報セキュリティー対策・ハラスメント防止対策の危機管理を徹底するため、時代・実情に即したマニュアルの改善と、マニュアルに沿った対応を強化する。
- ② 院内感染防止対策として、様々な感染症の院内発生・院内持ち込み防止の強化を図る。また職員自身の健康管理に努め、自己啓発と感染防止に取り組む。
- ③ 個人情報の漏えい防止に職員一丸となり努める。
- ④ 電子カルテ等システムのトラブル及び電源ダウン等不測の事態に備え、必要な更新、メンテナンス等を励行しシステム障害リスクの軽減を図る。
- ⑤ 患者の暴力や迷惑行為、また苦情処理や訴訟対応を多職種連携し対応・対策に取り組む。
- ⑥ 医療安全対策強化として、インシデント報告を基に事例分析・分析結果・改善及び再発防止に取り組む。

- ⑦ 医療安全に関する最新情報の把握と職員への啓発を図る。
- ⑧ 大規模災害に備え、自ら被災した中で初期救急医療体制が保てるかが重要である。寸断なく医療提供を行う、人命を最大限優先する、地域の医療提供の核となる、を重要課題とし、マニュアルの見直し及び危機管理体制の強化を図る。

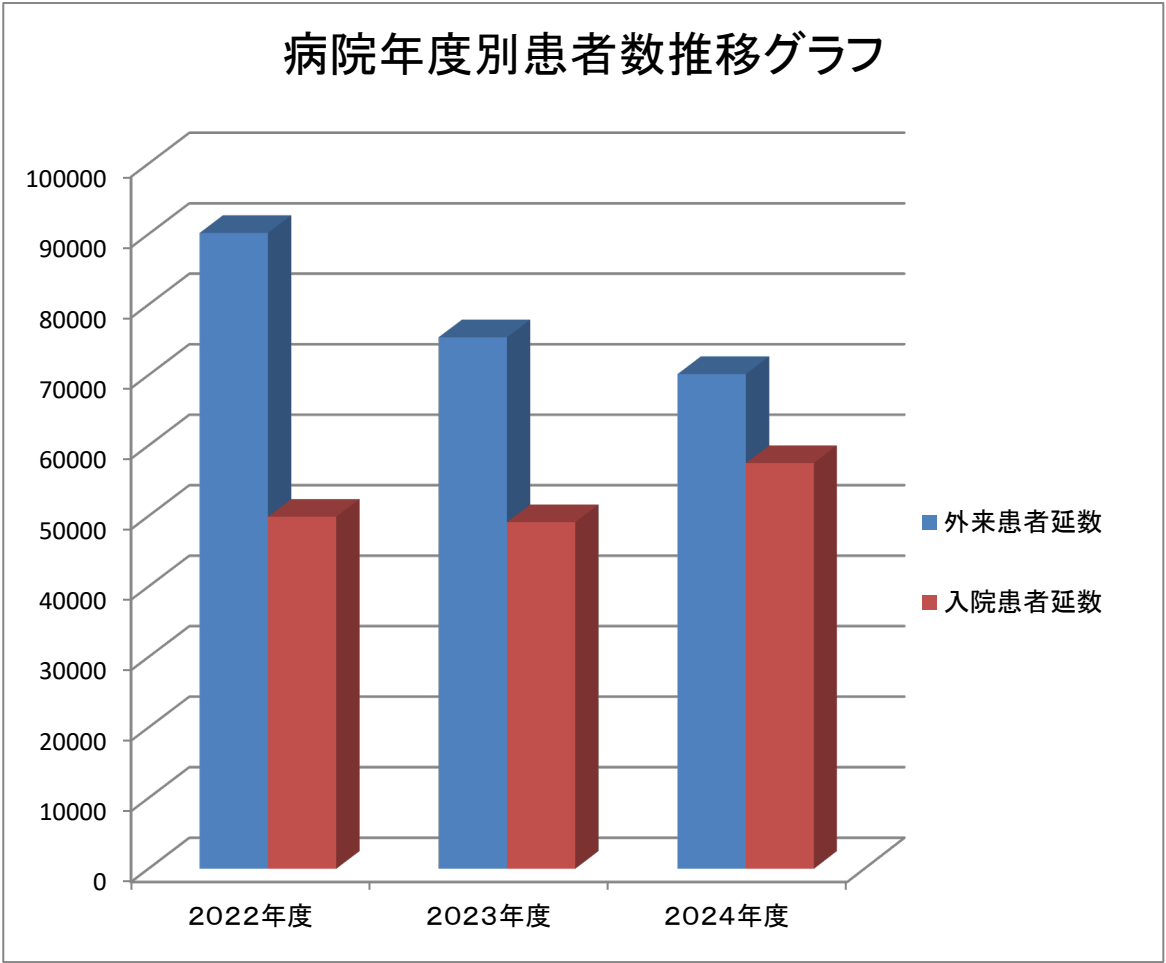
V 経営改善

- ① 赤字体質からの脱却、安定した財務基盤の構築を目標に、医業収益の7割をしめる入院収入増収に向け、入院患者の増患、入院化率の高い救急車受入れ体制を強化する。
- ② 不採算部門を洗い出し、人員の見直し、収益増への検討を行い、不要な経費の圧縮を進めキャッシュフローの改善に取り組む。
- ③ 予算管理を徹底し、月次実績、月次収支を短期間で確認し経費削減に取り組む。
- ④ 取引金融機関へ業績推移、進捗状況等を説明し、良好な信頼関係を維持する。
- ⑤ 病院事業を継続及び成長させるために、病院病床機能の役割分担を明確な計画を立て、「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」の戦略的意思決定の検討を行う。

(1)協和中央病院 年度別患者数

(単位:人)

		2022年度	2023年度	2024年
外来	新患者数	7,834	8,300	6,824
	患者延数	91,561	90,171	75,363
	1日平均	313	307	257
入院	入院患者延数	53,992	49,908	49,131
	1日平均	145.2	136.7	134.4



(2) 2024年度診療科別・月別患者数(外来患者延数)

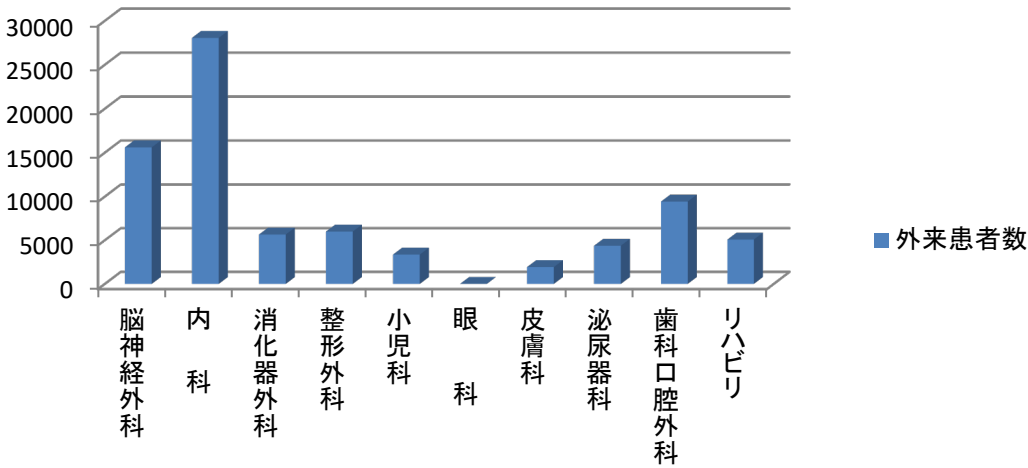
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
外来	脳神経外科	1,363	1,262	1,401	1,351	1,266	1,318	7,961
	内科	2,313	2,293	2,303	2,450	2,432	2,277	14,068
	消化器外科	486	481	502	480	466	460	2,875
	整形外科	530	490	579	512	497	513	3,121
	小児科	284	282	266	291	310	254	1,687
	皮膚科	160	191	185	223	201	175	1,135
	泌尿器科	375	398	335	376	334	363	2,181
	歯科口腔外科	776	824	860	874	771	771	4,876
	リハビリ	457	429	432	460	378	421	2,577
	合計	6,744	6,650	6,863	7,017	6,655	6,552	40,481

(単位:人)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
外来	脳神経外科	1,339	1,294	1,269	1,241	1,192	1,305	7,640	15,601
	内科	2,450	2,218	2,460	2,342	2,167	2,352	13,989	28,057
	消化器外科	518	478	467	434	450	437	2,784	5,659
	整形外科	475	513	488	480	426	495	2,877	5,998
	小児科	303	254	291	273	275	277	1,673	3,360
	皮膚科	158	171	131	119	104	110	793	1,928
	泌尿器科	397	348	389	334	343	383	2,194	4,375
	歯科口腔外科	801	792	774	695	671	825	4,558	9,434
	リハビリ	472	430	422	387	363	427	2,501	5,078
	合計	6,913	6,498	6,691	6,305	5,991	6,611	39,009	79,490

診療科別外来延患者数



(3) 2024年度診療科別・月別患者数(入院患者延数)

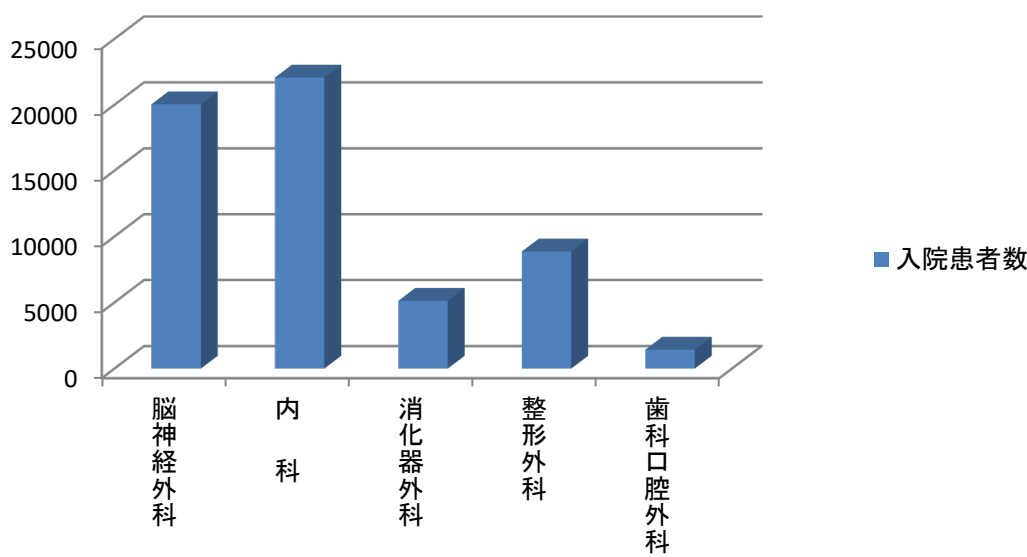
(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
入院	脳神経外科	1,354	1,435	1,588	1,931	1,939	1,889	10,136
	内科	1,690	1,479	1,699	1,909	2,192	1,754	10,723
	消化器外科	422	346	420	519	484	479	2,670
	整形外科	896	751	653	580	684	732	4,296
	歯科	86	157	130	115	108	108	704
	合計	4,448	4,168	4,490	5,054	5,407	4,962	28,529

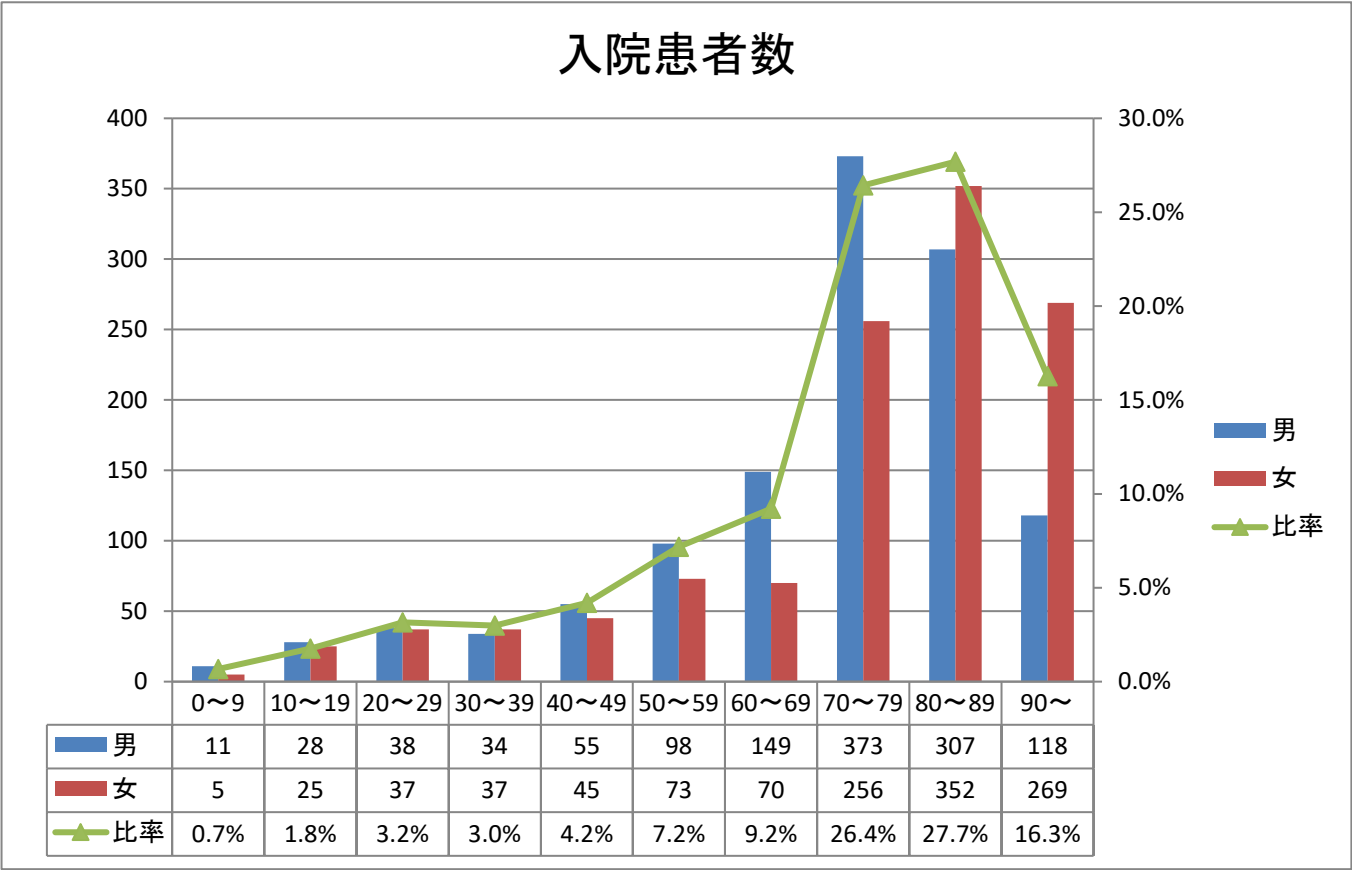
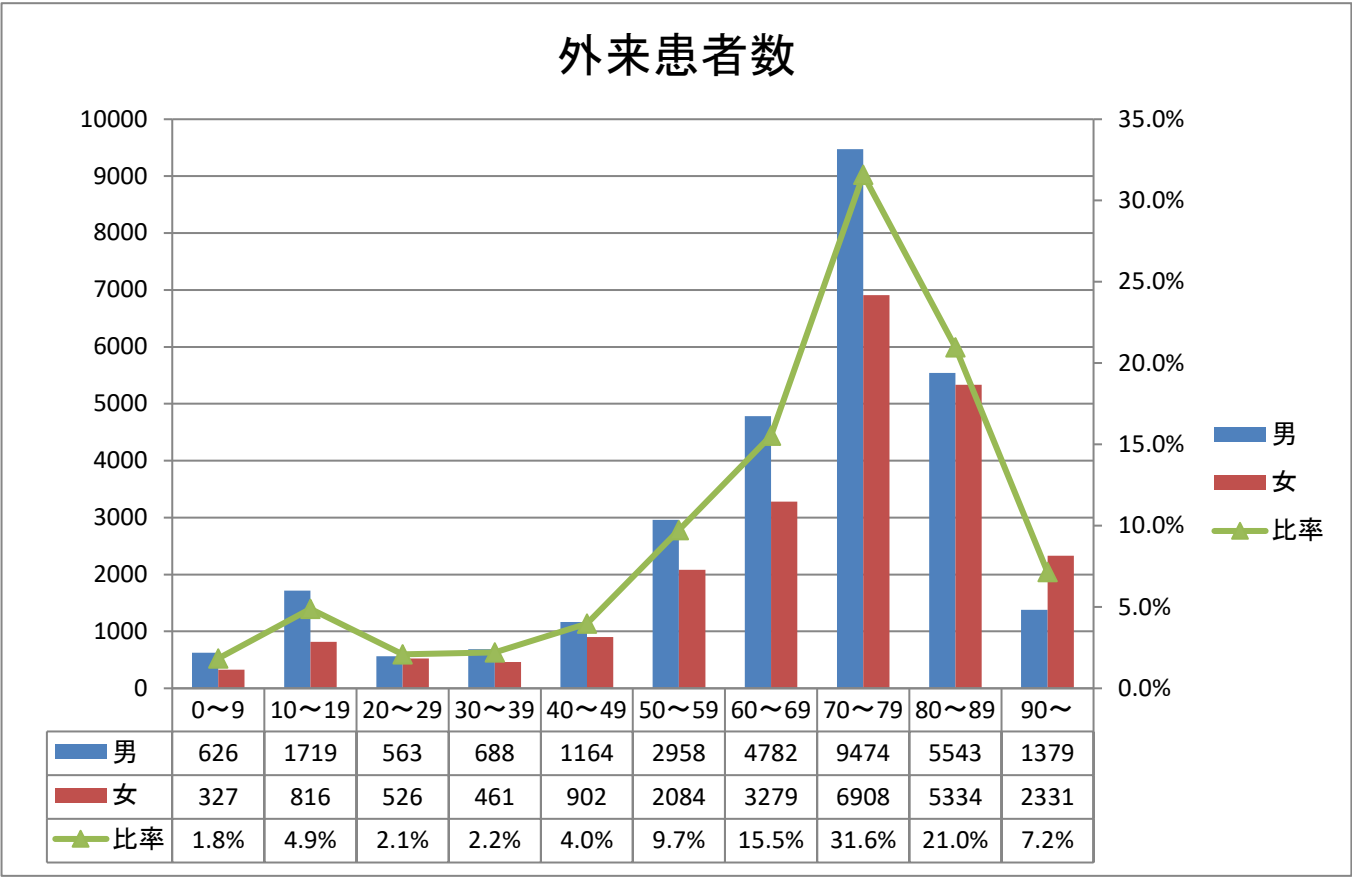
(単位:人)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
入院	脳神経外科	1,907	1,529	1,448	1,745	1,595	1,677	9,901	20,037
	内科	1,887	1,671	1,746	2,132	1,976	1,928	11,340	22,063
	消化器外科	429	428	414	378	348	457	2,454	5,124
	整形外科	729	673	772	821	741	831	4,567	8,863
	歯科	118	154	84	85	132	148	721	1,425
	合計	5,070	4,455	4,464	5,161	4,792	5,041	28,983	57,512

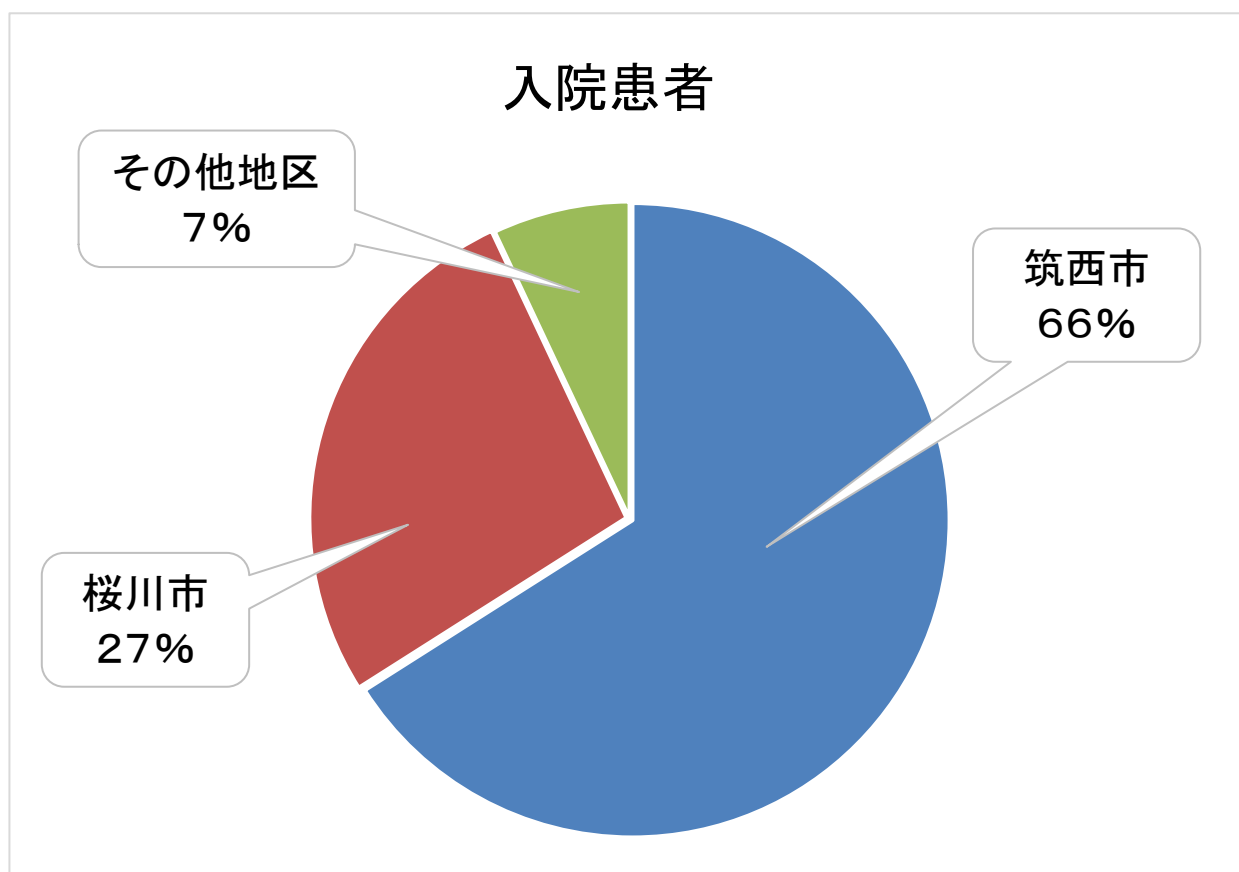
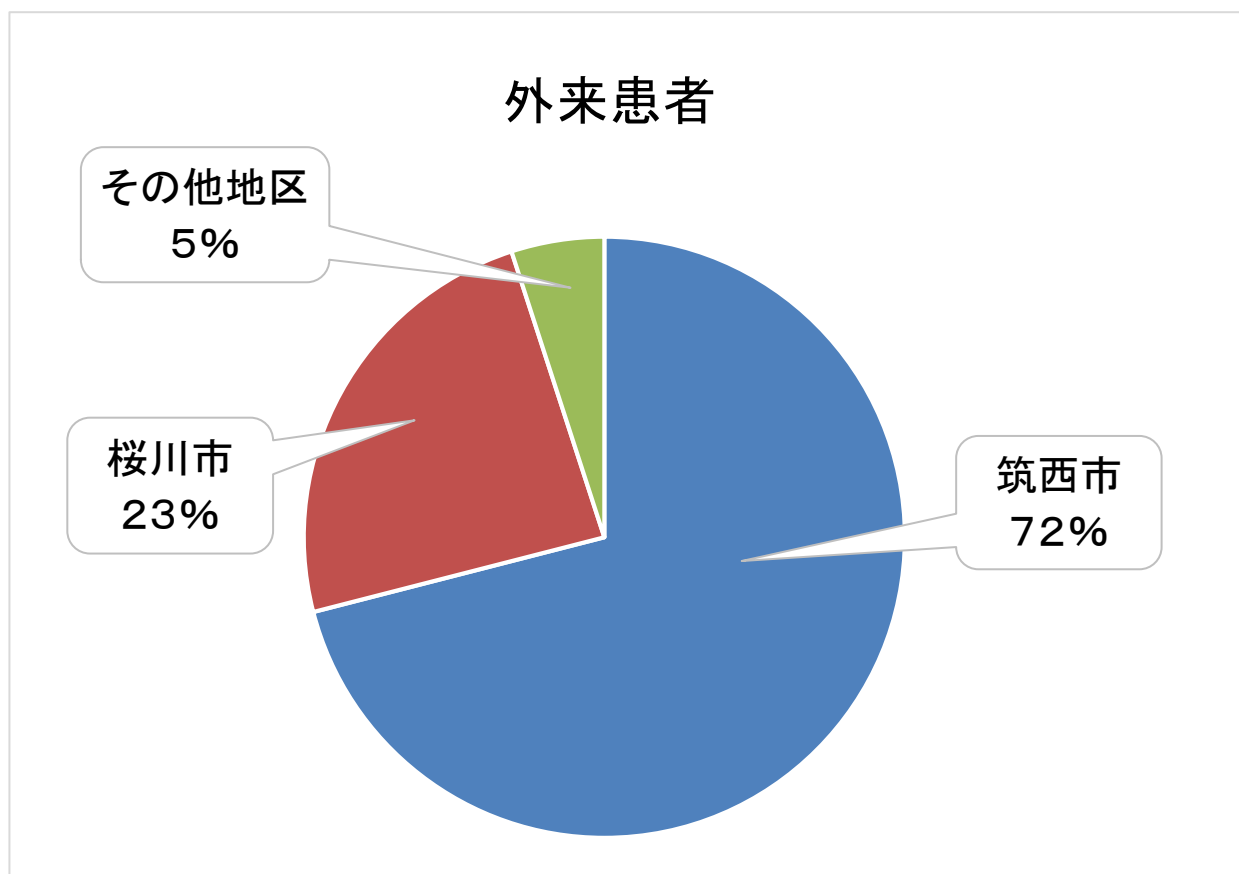
診療科別入院延患者数



(4) 年齢別患者数



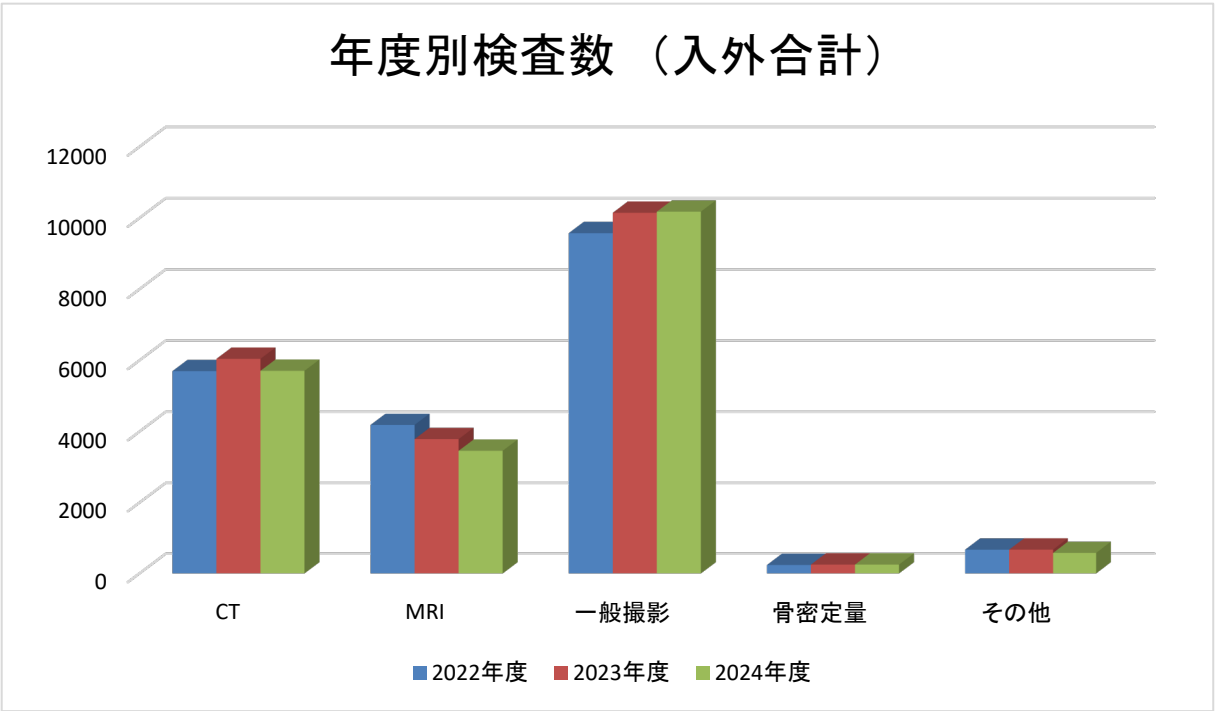
(5) 地域別患者割合



(6)放射線科 年度別検査数

(単位:件)

		2022年度	2023年度	2024年度
CT	入院	986	883	851
	外来	4,713	5,162	4,858
	計	5,699	6,045	5,709
MRI	入院	332	372	411
	外来	3,857	3,419	3,051
	計	4,189	3,791	3,462
一般撮影	入院	2,951	3,192	3,160
	外来	6,625	6,957	7,019
	計	9,576	10,149	10,179
骨塩定量		241	253	252
その他		673	675	581
合計		20,378	20,913	20,183



(7)検査科 年度別検査件数

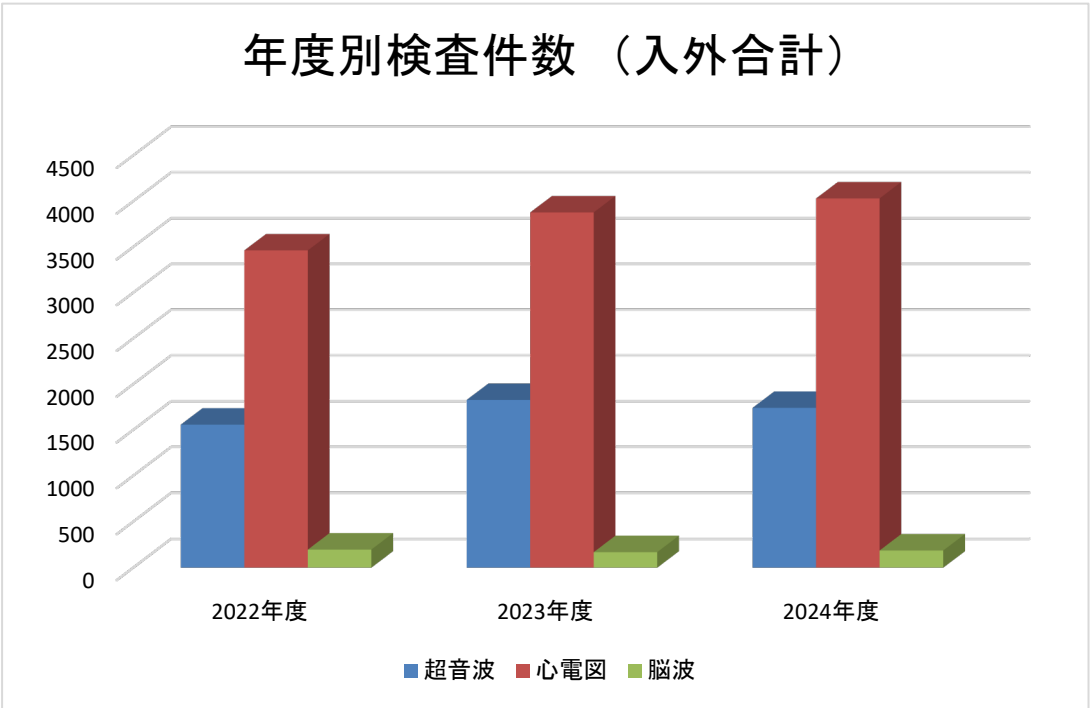
(単位:件)

		2022年度	2023年度	2024年度
超音波 (心臓)	入院	227	288	279
	外来	335	335	352
超音波 (胸腹部)	入院	39	50	37
	外来	680	810	726
超音波 (その他)	入院	73	103	118
	外来	204	242	229
計		1,558	1,828	1,741

心電図	入院	1,232	1,568	1,699
	外来	2,094	2,173	2,174
ホルター 型心電図	入院	68	69	88
	外来	68	67	69
計		3,462	3,877	4,030

脳波	入院	19	31	23
	外来	178	138	164
計		197	169	187

合計		5,217	5,874	5,958
----	--	-------	-------	-------

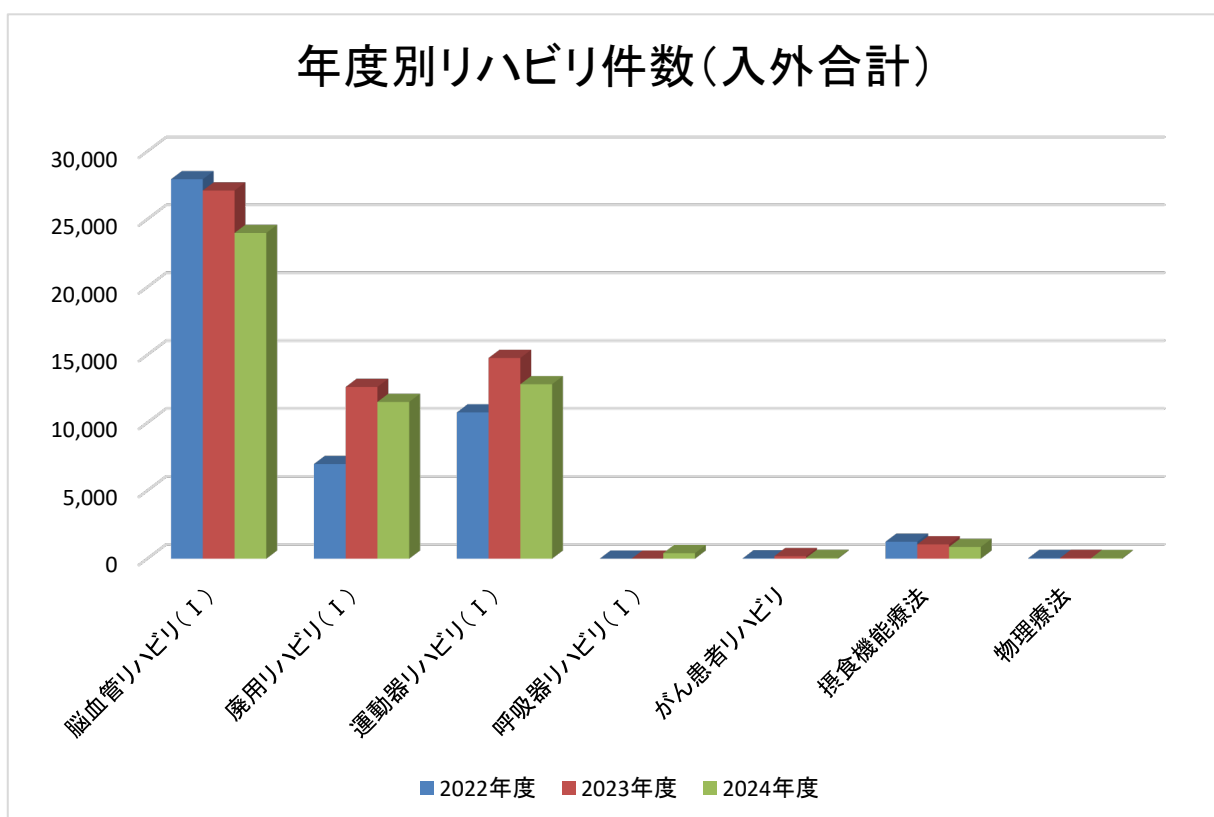


(8)リハビリ科 年度別リハビリ件数

(単位:件)

入院	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管リハビリ(Ⅰ)	20,947	19,430	16,690
廃用リハビリ(Ⅰ)	6,894	12,528	11,491
運動器リハビリ(Ⅰ)	6,193	11,369	9,227
呼吸器リハビリ(Ⅰ)	—	—	406
がん患者リハビリ	22	187	58
摂食機能療法	1,245	1,052	862

外来	2022年度	2023年度	2024年度
脳血管リハビリ(Ⅰ)	7,004	7,690	7,300
廃用リハビリ(Ⅰ)	63	111	44
運動器リハビリ(Ⅰ)	4,570	3,406	3,612
物理療法	51	55	45

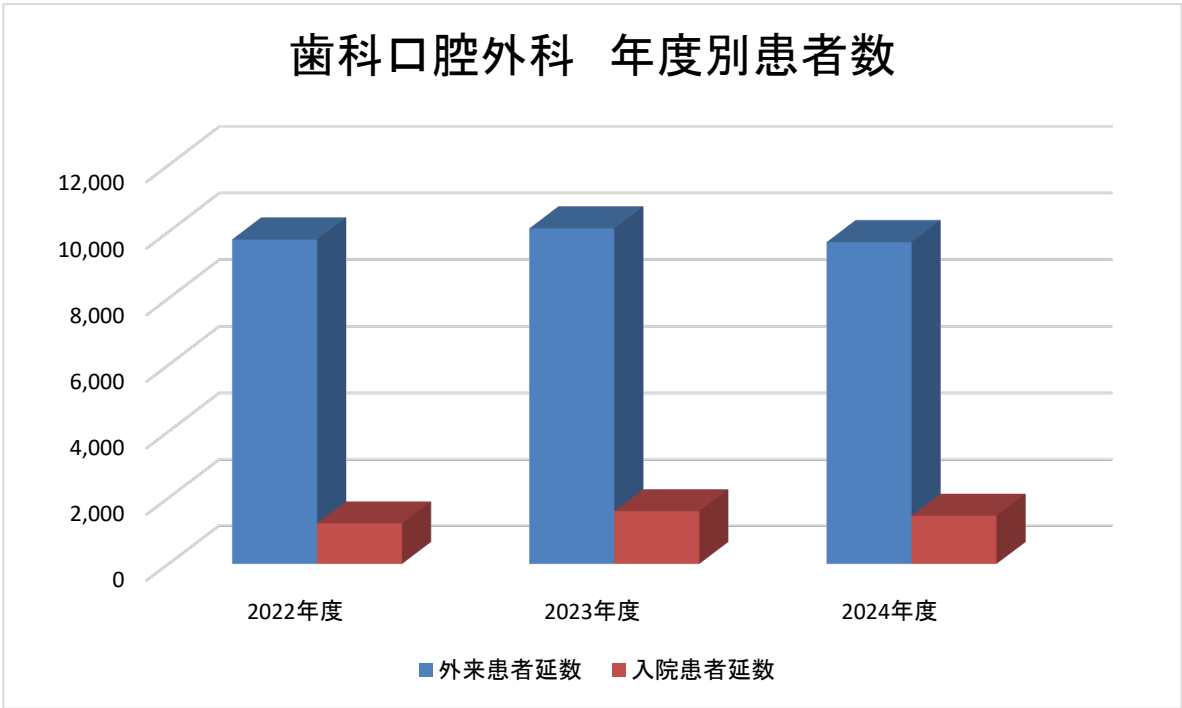


(9) 歯科口腔外科 年度別患者延数

	2022年度	2023年度	2024年度
外来患者延数	9,766	10,099	9,686
入院患者延数	1226	1592	1458
手術件数(全身麻酔件数)	298(214)	357(255)	388(265)

主要手術名称

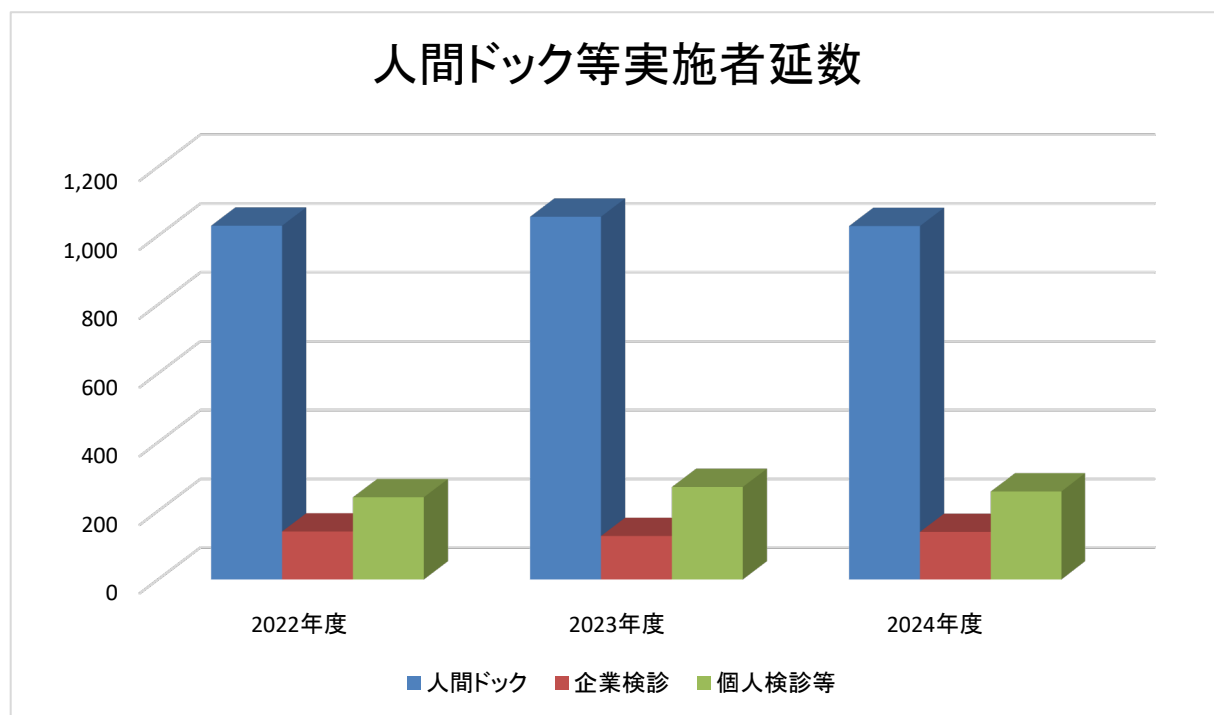
- 埋伏歯抜歯手術
- 過剰歯抜歯手術
- 舌悪性腫瘍切除術
- 顎関節形成術
- 萌出困難歯開窓術
- 頸部郭清術
- 顎骨腫瘍摘出術
- 舌腫瘍摘出術
- 頬粘膜腫瘍摘出術
- 唾石摘出術
- 靦血の整復固定術
- インプラント手術
- 下顎隆起形成術
- 顎骨内異物除去術
- 有病者・障害者・小児歯科治療
- 顎下腺摘出術
- etc



(10)健康医学管理課 年度別人間ドック等実施者延数

(単位:人)

	2022年度	2023年度	2024年度
人間ドック	1,029	1,055	1,028
企業検診	140	127	139
個人検診等	240	270	257

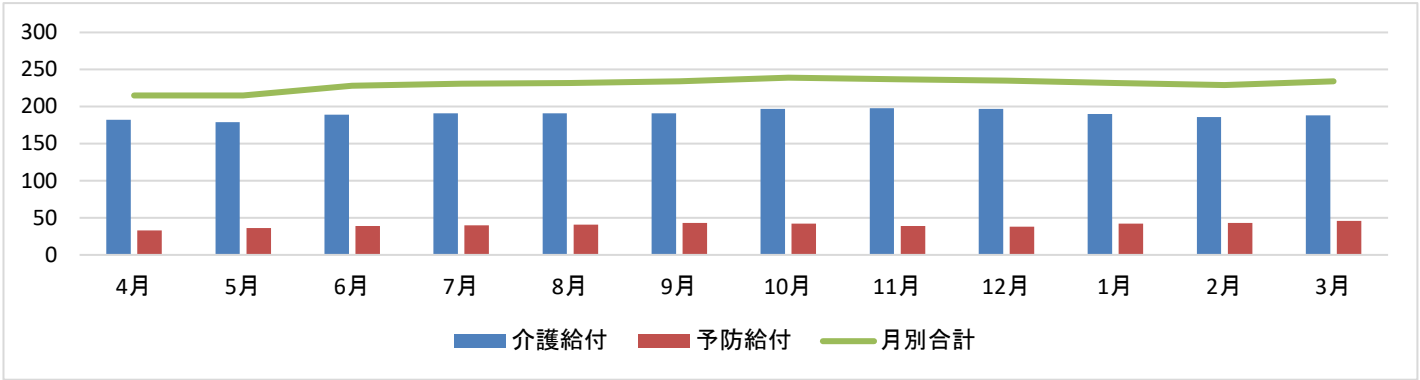


(11) 居宅支援事業 居宅件数・医療福祉相談件数

令和6年度 居宅介護支援給付件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
介護給付	182	179	189	191	191	191	197	198	197	190	186	188	2,279
予防給付	33	36	39	40	41	43	42	39	38	42	43	46	482
月別合計	215	215	228	231	232	234	239	237	235	232	229	234	2,761

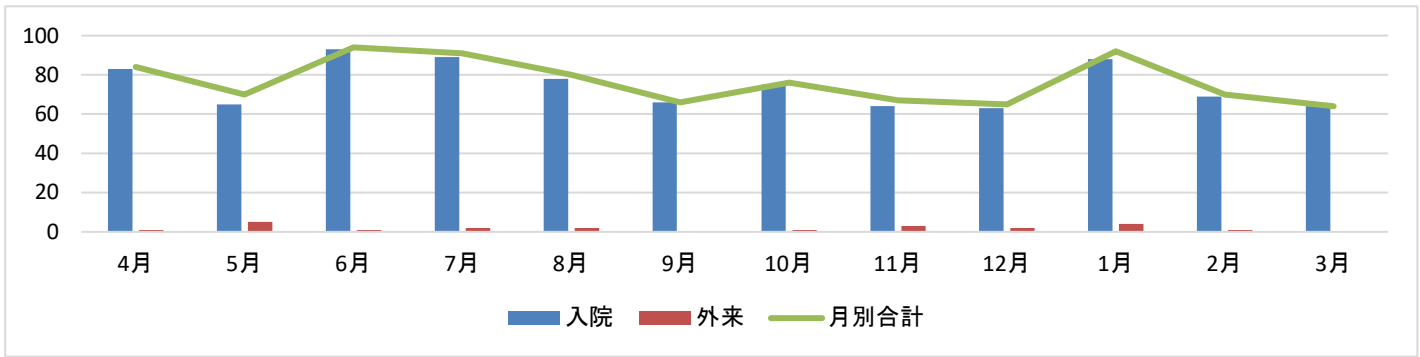


令和6年度 医療福祉相談件数

【SW介入数(新規)】

(単位:件)

新規介入ケース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
入院	83	65	93	89	78	66	75	64	63	88	69	64	897
外来	1	5	1	2	2	0	1	3	2	4	1	0	22
月別合計	84	70	94	91	80	66	76	67	65	92	70	64	919



【算定実績】

	件 数
入退院支援加算	833件
介護支援連携指導料	91件
退院時共同指導料	42件

(12)手術件数(上位20項目)

	手術名称	件数
1	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	174
2	抜歯手術(埋伏歯)	168
3	顎骨腫瘍摘出術	42
4	関節内骨折観血の手術(四肢)	33
5	人工骨頭挿入術(股)	30
6	骨折観血の手術(大腿)	26
7	鼠径ヘルニア手術	25
8	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	25
9	骨内異物(挿入物を含む)除去術(四肢)	15
10	関節内骨折観血の手術(手)	14
11	骨折観血の手術(四肢)	13
12	内視鏡的乳頭切開術	12
13	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)(指)	12
14	関節内異物(挿入物)除去術(四肢)	9
15	歯根嚢胞摘出手術	9
16	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓切除)	8
17	内視鏡的胆道ステント留置術	8
18	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	6
19	腹腔鏡下胆嚢摘出術	6
20	内視鏡的胆道結石除去術(胆道碎石術を伴うもの)	6

(13) 疾病中分類

	疾病分類表(中分類)	基本分類コード	患者数
1	腸管感染症	A00-A09	31
2	結核	A15-A19	1
3	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患	B00-B09	4
4	ウイルス肝炎	B15-B19	2
5	真菌症	B35-B49	1
6	その他の感染症及び寄生虫症	A00-B99の残り	7
7	胃の悪性新生物	C16	25
8	結腸の悪性新生物	C18	42
9	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	C19-C20	14
10	肝及び肝内胆管の悪性新生物	C22	10
11	気管、気管支及び肺の悪性新生物	C33-C34	27
12	乳房の悪性新生物	C50	5
13	子宮の悪性新生物	C53-C55	1
14	悪性リンパ腫	C81-C85	4
15	その他の悪性新生物	C00-C97の残り	49
16	良性新生物及びその他の新生物	D00-D48	24
17	貧血	D50-D64	23
18	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	D65-D89	2
19	糖尿病	E10-E14	8
20	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	E15-E90	83
21	血管性及び詳細不明の認知症	F01, F03	2
22	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F10-F19	6
23	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	F20-F29	1
24	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	F40-F48	7
25	その他の精神及び行動の障害	F00-F99の残り	1
26	パーキンソン病	G20	8
27	アルツハイマー病	G30	6
28	てんかん	G40-G41	38
29	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	G80-G83	2
30	自律神経系の障害	G90	9
31	その他の神経系の疾患	G00-G99の残り	30
32	その他の眼及び付属器の疾患	H00-H59の残り	1
33	メニエール病	H81. 0	7
34	その他の内耳疾患	H80, H81. 1-H83	55
35	高血圧性疾患	I10-I15	3
36	虚血性心疾患	I20-I25	19
37	その他の心疾患	I01-I02. 0, I05-I09, I27, I30-I52	109
38	くも膜下出血	I60, I69. 0	2
39	脳内出血	I61, I69. 1	26
40	脳梗塞	I63, I69. 3	180
41	その他の脳血管疾患	I62, I64-I67. 1, I67. 3-I68, I69. 2, I69. 4-I69. 8	3
42	動脈硬化（症）	I70	1
43	低血圧（症）	I95	9
44	その他の循環器系の疾患	I00-I99の残り	12
45	その他の急性上気道感染症	J01, J04-J06	1
46	肺炎	J12-J18	98
47	急性気管支炎及び急性細気管支炎	J20-J21	2
48	慢性副鼻腔炎	J32	2
49	慢性閉塞性肺疾患	J41-J44	20
50	喘息	J45-J46	6
51	その他の呼吸器系の疾患	J00-J99の残り	95
52	う蝕	K02	11
53	歯肉炎及び歯周疾患	K05	8
54	その他の歯及び歯の支持組織の障害	K00-K01, K03-K04, K06-K08	210
55	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	K25-K27	10
56	アルコール性肝疾患	K70	3
57	その他の肝疾患	K71-K72, K74. 0-K74. 2, K75-K77	19
58	胆石症及び胆のう炎	K80-K81	55
59	膵疾患	K85-K86	4
60	その他の消化器系の疾患	K00-K93の残り	238
61	皮膚及び皮下組織の感染症	L00-L08	29
62	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	L10-L14, L40-L98	12
63	炎症性多発性関節障害	M05-M14	9
64	関節症	M15-M19	7
65	脊椎障害（脊椎症を含む）	M45-M49	17
66	椎間板障害	M50-M51	3
67	腰痛症及び坐骨神経痛	M54. 3-M54. 5	8
68	その他の脊柱障害	M40-M43, M53. 0, M53. 2-M53. 9, M54. 0-M54. 2, M54. 6-M54. 9	1
69	骨の密度及び構造の障害	M80-M85	2
70	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	M00-M99の残り	34
71	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	N00-N16	8
72	腎不全	N17-N19	12
73	尿路結石症	N20-N23	4
74	その他の腎尿路系の疾患	N25-N39, N99. 0-N99. 1, N99. 4-N99. 9	79
75	前立腺肥大（症）	N40	2
76	その他の男性生殖器の疾患	N41-N51	2
77	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	N60-N90, N93, N94. 1-N94. 2, N96-N98, N99. 2-N99. 3	1
78	その他の先天奇形、変形及び染色体異常	Q00-Q18, Q25-Q99	2
79	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99	1
80	骨折	S02, S12, S22, S32, S42, S52, S62, S72, S82, S92, T02, T08, T10, T12	246
81	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	S06, S26-S27, S36-S37	63
82	熱傷及び腐食	T20-T32	1
83	中毒	T36-T65	10
84	その他の損傷及びその他の外因の影響	S00-T98の残り	64
85	特殊目的用コード	U00-U99	123

(14)救急・時間外年度別患者数

(単位:人)

			2022年度	2023年度	2024年度
救急車受入患者数①			1,024	1,570	1,643
内訳	時間内	入院	238	385	405
		外来	144	240	233
		計	382	625	638
	時間外	入院	292	480	545
		外来	350	465	460
		計	642	945	1,005
時間外患者数②			2,023	1,014	800
内訳	入院		1,280	126	127
	外来		743	888	673
合計(①+②)			3,047	2,584	2,443

